

文化財を生活のなかにかかし、将来へむかして保存する。これは有意義なことであり、後世に伝える義務ともいえます。

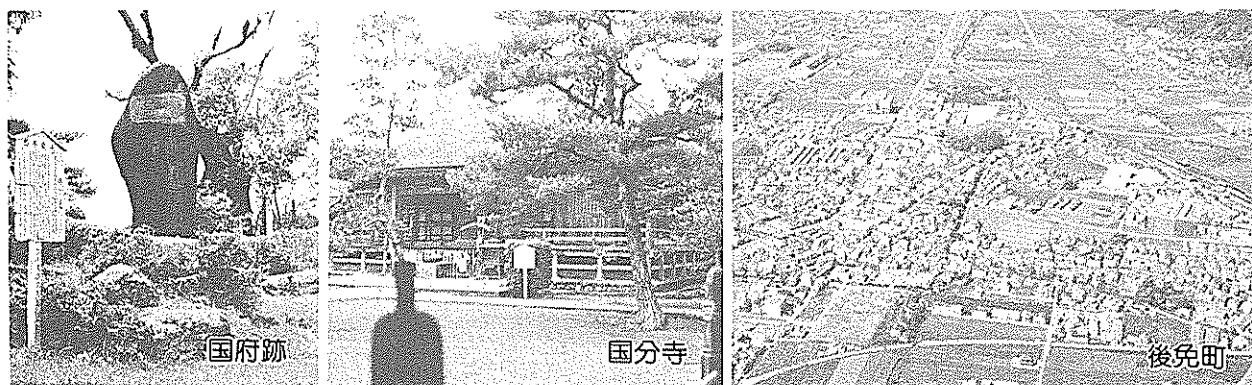
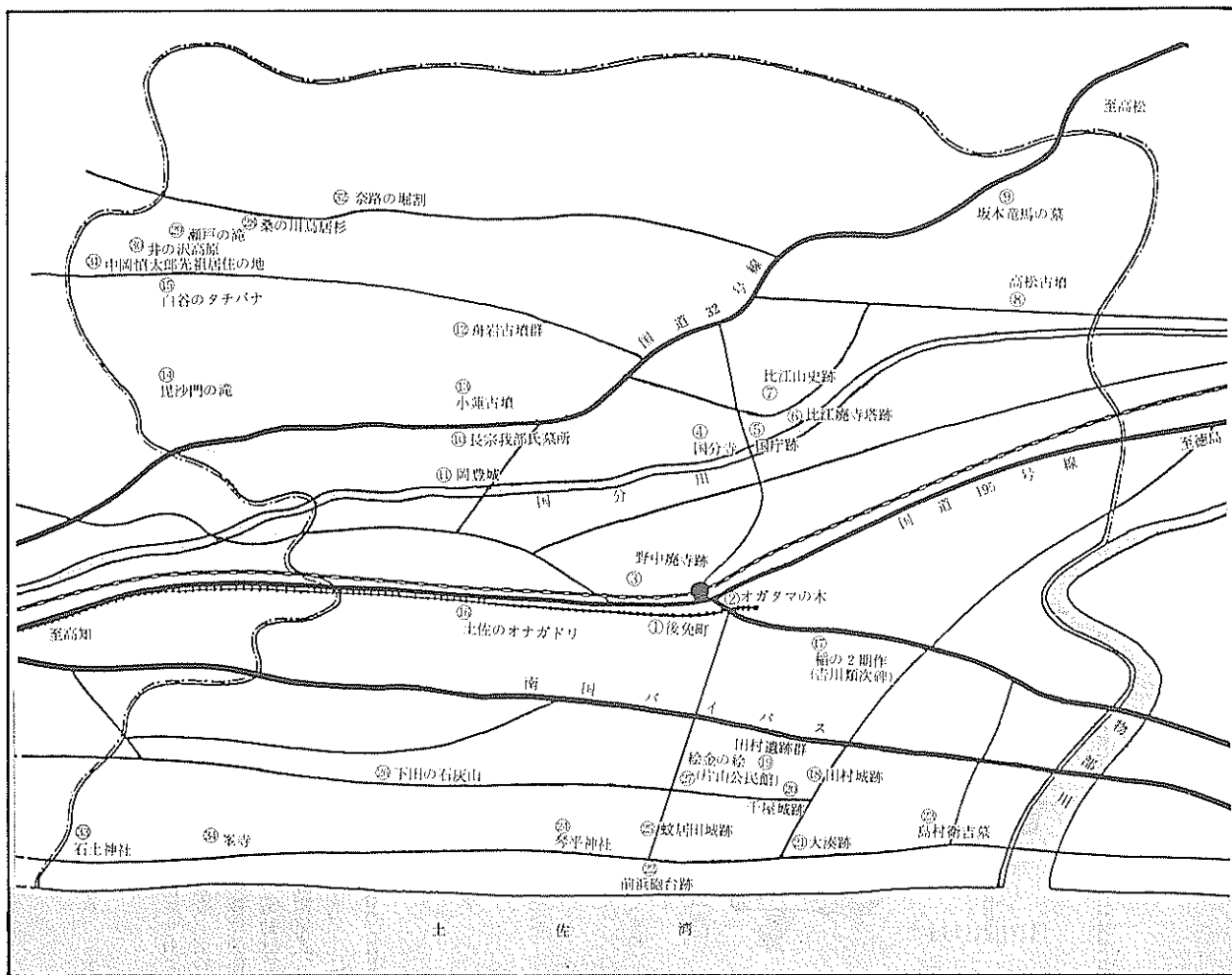
私たちの祖先が、このように生きてきた方をしるる各種の遺跡が南国市には数多く残っています。

最近、南国市へ「歴史公園」をという声も多々聞かれます。これは市民が「心のふるさと」を求め、一度あなたの身近の文化財を調査し、生活のなかで文化財とほごな位置をしめしている方考えをみまわす。

以下、教育委員会発行の「南国市文化財めぐり案内」などから引用し並べてみました。地図と合わせて、家族ぐるみで楽しんでいただければ幸いです。

南国市の文化遺産

こんなにあります!!



- ①後免町・三百年前、この地は未墾地が多く、野中兼山は、舟入川を通じて入植者には諸税を免除したのでこの名前が残っている。
- ②オガタマの木・後免町中町、舟入川の南岸にあり、樹令約三百年、木れん科の常緑樹で葉は長随円形花は白色。オガタマは「招き」で古く神事に使われたと思われる。市指定の天然記念物である。
- ③野中庵寺跡・土讃本線後免駅から西へ七百メートル、現在残っているものや出土品から、広さ一、五畝、平安時代前期のものらしい。
- ④国分寺・行基が七三九年に開山、空海が中興した四国霊場第二十九番札所で本尊は行基作の千手観音、金堂、楽師如来像二体、梵鐘は重要文化財で土讃国指定の史跡である。
- ⑤国府跡・八世紀には比江に国府がおかれていたと思われる。紀貫之が九三〇年から四年間在任した館跡が小公園として残り県の指定文化財になっている。
- ⑥比江廃寺塔跡・比江東端に近く大きな礎石がある。礎石には、二段の円い穴があり、中に穴に仏舎利がおさまられ、その上に五重の塔が建っていたものと思われる。昭和九年、国の史跡に指定された。
- ⑦比江山史跡・比江山は掛任の園司が、比江山をしのんで名づけた。比江山城は元親の従弟親興の居城で、永源寺は山内家老乾家の菩提寺で、寺の北側に五代にわたる

- 大卵塔の墓がある。
- これらは市指定の史跡である。
- ⑧高松古墳・昭和三十九年、久礼田の南山麓地帯の縦約四、幅約二の横穴式古墳が発掘された。
- ⑨坂本竜馬先祖の墓・才谷寺跡に坂本家初代の太郎五郎、大浜屋敷に二代の彦三郎、三代の太郎左衛門の墓がある。四代八兵衛の時高地下に移った。竜馬は十代目。
- ⑩長宗我部氏墓所・岡豊山の北谷にある。氏は始皇帝から出ているといわれている。市指定の文化財。
- ⑪岡豊城跡・奈氏代々の居城で、とくに元親が有名、いまも一の丸、二の丸、三の段、四の段、うまや床、井戸などが残っている。県指定の史跡でうまや床は市指定の史跡。
- ⑫舟古墳群・希望が丘学園の北側、大平山の山頂近くの舟古墳には約二十四基の古墳が残る。多くの出土品がある。
- ⑬小蓮古墳・朝倉宮の前、明見彦山とともに土佐の三大古墳の一つ。累下約二百の古墳のうち大半を南国市が占め、土佐のふるさとであることがわかる。県指定の文化財。
- ⑭毘沙門の滝・岡豊の滝本にある。高さ三十、三段にわかれて落下、前方の池は広く鯉が泳ぎ、周囲には老木が茂り、歴史を秘めた毘沙門堂がある。市指定の文化財。
- ⑮白木谷の夕チバナ・白木谷の一道木を中心に十本近く自生する。県指定の天然記念物である。

- ⑯土佐のオナガドリ・土佐を代表する特別天然記念物で、原産地は篠原。一六五〇年頃から改良が続けられ、いまに至っている。
- ⑰稲の二期作・明治時代、稲生衣笠の吉川類次という篤農家がごく早稲をつくりあげ、二期作の発達に礎となった。
- ⑱田村城跡・二三八〇年ごろ、細川頼益が守護代着任以来四代一三〇年近く居城した。市指定の史跡となっている。
- ⑲田村遺跡群・田村城の付近には弥生期の遺跡が多く中心地が西見当である。出土品が多く、底にモミ跡のある土器が有名。
- ⑳土屋城跡・守護代細川氏に属した後、長宗我部に属した勇将の居城。学者が医者でもあった。市の史跡。
- ㉑大湊跡・大湊小学校の南方、後川にわずかに名残りをとどめている。旧物部川の川口港だった。
- ㉒前浜砲台跡・下田村の郷土、大原里勝は、一八五三年米の軍艦が浦賀に來航した際、藩命により砲台の築構に従事した。市指定の史跡。
- ㉓島村衛吉墓・下島の人で文武両道にすぐれた土佐勤王党に属した。一八六五年獄死した。
- ㉔琴平神社・里改田琴平山上にあり、大物主命と宗徳天皇まつる。
- ㉕蚊居田城跡・三和小学校の南方「城の松」とよばれる所が四代封

- ⑹下田の石炭山・阿波の人、徳右衛門が通路途中の稲生下田で行き倒れ、地元の人々の世話で回復、恩返しに石炭焼きの新しい方法を伝え、以来下田で盛んになった。
- ㉖絵金の絵・町絵師、本名弘瀬金藏、画号順意、絵金は通称。片山公民館で参観できる。
- ㉗桑の川鳥居杉・桑の川の地主神社の境内にあり、二本の杉が中空で連結し、鳥居に似ているところからこの名前がつく。市の文化財。
- ㉘瀬戸の滝・地主神社から二、三、桑の川の上流、高さ三十、川の水量豊かな滝である。
- ㉙井の沢高原・海拔五百、市の平野部、太平洋を一望、近くの井の沢小学校跡はキャンプに好適。
- ㉚中岡慎太郎先祖居住の地・慎太郎の祖平助は子がなく、甘代町の庄屋寺石正道の三男要七を養子とし、それから三代目が慎太郎である。
- ㉛奈路の堀割・奈路小学校から七百、黒龍よりの市道にそった長さ六十、中谷川の水を奈路に流しているもので、川村代七が一八四九年に掘りぬいた。
- ㉜石工神社・もと海上鎮護だったのが今は農業の神である。後ろには十市の蛇穴とよぶ石炭洞がある。
- ㉝壱寺・十市の峯山にあり、四国霊場三十三番札所。八〇六年頃空海が開いたもので、本尊は十一面観音像、定明の金剛力士像二体は重要文化財である。ここは景勝地でユースホステルも兼ねている。



桑の川鳥居杉



土佐のオナガドリ



比江廃寺塔跡